

衆選予定候補・政党 公開質問状への回答

①後期高齢者医療制度の廃止、②特別養護老人ホームの増設、③療養病床の削減、④診療報酬の引き上げ、⑤介護報酬の引き上げ、⑥県立病院の地方独立行政法人化、⑦医師、看護師、介護職員の増員、⑧全額国庫負担の最低保障年金制度の創設、⑨社会保障費を毎年2200億円削減する路線、⑩消費税増税、⑪新テロ特別措置法の延長、⑫回答について150文字以内(句読点含む)で補足してください。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
社会民主党 山梨県連合	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	×	後期高齢者医療制度は、医療の内容に格差や制限を持ち込むだけではなく、高齢者・現役世代に関係なく、保険料を値上げし、国民負担を強めてきています。その結果、無保険者が増大しています。国の財源を投入して、高すぎる社会保険料や国民健康保険料と患者の窓口負担を見直すため、廃止すべきです。
えんどう昭子 (日本共産党)	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	×	2200億円削減路線はやめ、予算を復活し社会保障の充実に。年間5兆円の軍事費、2500億円の米軍への「思いやり予算」、320億円の政党助成金など税金のむだづかいをやめる。大企業、大資産家へのゆきすぎた減税(7兆円)をもとにもどす。この「聖域」にメスを入れれば、消費税に頼らなくても財源は作れる。
後藤 斎 (民主党)	○	○	△	△	△	△	○	○	×	△	×	
日本共産党 山梨県委員会	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	×	今度の選挙は、毎年2200億円も削減する「構造改革」路線を推し進めてきた自民・公明政権から国民の命と暮らしを守る政治に転換するチャンスです。高齢者差別の後期高齢者医療制度の即時撤廃をはじめ医療、福祉、介護の充実、安心できる年金制度、正規雇用の拡大、消費税増税ストップへ、いまこそ力を合わせましょう。
自由民主党 山梨県支部 連合会	△	○	△	△	○	△	○	△	△	△	○	
小沢鋭仁 (民主党)	○	△	△	△	○	△	○	○	×	×	×	
民主党 山梨県総支部 連合会	○	○	△	△	○	△	○	○	×	×	×	
赤池誠章 (自由民主党)	△	△	△	○	○	△	○	△	×	△	○	私は、自民党総裁選の候補者に政策提言をしました。その一つが「国民皆保険制度、国民皆年金制度を安定化させ、国民の不安を取り除くために、毎年一律の増額抑制を廃止し、福祉目的税の導入を検討する」ということです。自助・共助・公助のバランスの中で、社会保障の充実に全力で取り組みます。
坂口岳洋 (民主党)	○	○	×	△	○	△	○	○	×	×	×	
小野次郎 (自由民主党)	回答なし(10月6日現在)											
公明党 山梨県本部	回答なし(10月6日現在)											
長崎幸太郎 (自由民主党)	回答なし(10月6日現在)											
堀内光雄 (自由民主党)	回答なし(10月6日現在)											

○=「賛成」、△=「慎重に対応する」、×=「反対」